

整理番号：6-2

提言題名：防災士の活用について

【提言の要旨】

防災士は自助・共助・協働を原則として、様々な場で防災力を高める活動を期待されています。防災士は全国で約 52,000 人、取手市 196 人、守谷市 100 人が存在し、地域防災を支える人たちであり、リーダーでもありますが、残念ながら地域全体の場がないと存じます。そこで、地域防災勉強会・研究会などを開催してはどうでしょうか。例えば、洪水避難や地震避難をテーマに地域防災士を柱に、行政・防災会・市民で話し合い、喫緊の課題・潜在する課題について相互に確認して、今後に生かす努力をするなどです。

(令和元年 7 月受付)

【回答の要旨】

現在、取手市において防災士の組織化は行っておりませんが、近隣の龍ヶ崎市では平成 30 年 1 月に結成されております。

また、その他の自治体でも同様の動きがあることについて承知しております。防災士の方には、ご指摘のように地域防災を支えるリーダーとしての役割が期待されることから、市では各地域の防災に関する取組みを防災士の方に行っていただくよう、各地区の自主防災会を通じてお願いしているところです。まだ少数ではありますが、防災士を講師とした防災出前講座等も開催している状況です。

今後、防災士や地域の防災担当者のレベルアップに繋がる防災訓練や地域での勉強会について、自主防災会と連携を図りながら研究してまいります。

今後も市の防災行政に何卒ご理解ご協力をお願い申し上げます。

(安全安心対策課 令和元年 7 月回答)